



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社セイファート 上場取引所 東
 コード番号 9213 URL <https://www.seyfert.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 高志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部本部長 (氏名) 西山 一広 (TEL) 03-5464-1490
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	388	△10.6	△123	—	△122	—	△122	—
2025年12月期第1四半期	434	△0.6	△69	—	△71	—	△49	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △121百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△92.89	—
2025年12月期第1四半期	△37.82	—

(注) 2025年12月期第1四半期連結累計期間及び2026年12月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年12月期第1四半期	1,419		721		50.8
2025年12月期	1,473		852		57.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 721百万円 2025年12月期 852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,019	△2.9	△97	—	△98	—	△101	—	△76.50
通期	1,903	△1.3	△306	—	△306	—	△311	—	△236.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	1,320,800株	2025年12月期	1,320,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	42株	2025年12月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	1,320,758株	2025年12月期 1 Q	1,320,800株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会開催）

当社は、2026年5月21日（木）午後5時より、個人投資家向けの決算説明会（Web説明会）を開催する予定です。
当日使用する資料につきましては、決算説明会前日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの影響や個人消費の回復等により、景気は緩やかに回復しつつある一方で、物価上昇の継続、為替変動や現下の中東情勢等による地政学的リスクの高まり等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する美容業界におきましては、美容サービスへの個人消費は底堅く推移しているものの、人手不足や各種コスト上昇等の影響から美容室の経営環境は厳しくなっており、引き続き注視が必要な状況が続くと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループはサロンサポート事業を通じて、美容業界に向けた「広告求人サービス」による美容室経営企業の課題解決、「紹介・派遣サービス」による優秀な美容師人材の提供、「教育（その他）サービス」による教育機会の提供等により、美容業界の活性化を促進するための取組みを継続しております。

当第1四半期連結累計期間における「広告求人サービス」、「紹介・派遣サービス」、及び「教育（その他）サービス」の状況は、以下のとおりであります。

「広告求人サービス」- 美容業界向けWebメディア等の広告を中心としたサービス

同サービスは、美容業界に特化した求人情報サイト「re-request/QJ navi」（転職美容師向け）、「re-request/QJ navi 新卒」（新卒美容学生向け）、合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」、及び美容室プロモーションメディア「beauquet」等の商品から構成されております。

美容室プロモーションメディア「beauquet」は、案件単価はほぼ横ばいで推移したものの、既存クライアントのリピート率向上等の影響で案件数が前年同期を上回ったこと等により、好調に推移いたしました。また、「タブレット・レンタル」もタブレットを活用した消費財メーカーの広告配信による収益を積上げていることで売上総利益率が向上し、好調に推移いたしました。

「新卒採用商品」は、「re-request/QJ navi 新卒」の掲載単価がやや低下したものの、「re-request/QJ 就職フェア」の開催回数が倍増したことで出展企業数も大きく増加し、堅調に推移いたしました。なお、就職フェアの倍増は「資格証明」との関連性を活かした「City & Guilds 教育フェア 2026」の初開催等によるものです。

中途採用（転職）市場における「re-request/QJ navi」は、販促キャンペーンの実施により掲載件数は前年同期を超過したものの、同キャンペーンの影響で掲載単価が前年同期を下回ったことにより、低調に推移いたしました。前連結会計年度から課題となっている応募件数については当期目標には未達ですが、徐々に回復基調にあり、CVRも向上しております。更に、掲載件数については当期目標を超過しており、売上高も当期予想どおりに進捗しております。

その結果、「広告求人サービス」は、売上高234百万円（前年同期比8.8%減）、売上総利益135百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

「紹介・派遣サービス」- 美容師と美容室経営企業をOne to Oneで繋ぎ、働く場を提供するサービス

同サービスは、美容師に特化した人材紹介「re-request/QJ agent」、人材派遣「re-request/QJ casting」、及びヘアメイク手配「re-request/QJ ヘアメイク」等の商品から構成されております。

「re-request/QJ ヘアメイク」は、企業販促案件等が減少したことで案件単価が低下したものの、入学式や卒業式のシーズンイベント案件は増加し、堅調に推移いたしました。

「re-request/QJ casting」は、派遣美容師の新規獲得ができず、美容室経営企業へ派遣した美容師数、及び派遣日数が減少したこと等により、低調に推移いたしました。

「re-request/QJ agent」は、求職者対応に時間を要し、Webからの登録者数、面談数、及び最終的な成約数が前年同期を下回ったこと等により、低調に推移いたしました。

その結果、「紹介・派遣サービス」は、売上高82百万円（前年同期比9.3%減）、売上総利益28百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

「教育（その他）サービス」- 美容師や美容学生向けの産学協同による実践型教育を中心としたサービス

同サービスは、美容業界向け教育プログラム「資格証明」（美容学校向け）、英国教育機関「City & Guilds」プログラム導入国での「海外研修」、及び関係会社であるSEYFERT International USA, Inc.の美容室運営等から構成されております。

「資格証明」は、産学協同に資する当プログラムの導入美容学校数、賛同美容室経営企業数、及び認定試験官（エグザミネー）数が増加したこと等により、引き続き好調に推移いたしました。

「海外研修」は、現下の中東情勢の影響を受け、当第1四半期連結累計期間に予定していた英国からの来日研修が延期となったこと等により、低調に推移いたしました。

SEYFERT International USA, Inc.は、米国カリフォルニア州にて運営する美容室2店舗において、スタッフの

稼働日数が減少し顧客数が微減したものの、顧客単価は向上したこと等により、堅調に推移いたしました。

その結果、「教育(その他)サービス」は、売上高71百万円(前年同期比17.1%減)、売上総利益28百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高388百万円(前年同期比10.6%減)、営業損失123百万円(前年同期は営業損失69百万円)、経常損失は122百万円(前年同期は経常損失71百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は122百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失49百万円)となりました。

なお、連結業績予想に対しては概ね予想どおりに進捗しております。好調な「beauquet」「タブレット・レンタル」「資格証明」「新卒採用商品」等の更なる売上増加、及び「re-quest/QJ navi」の立て直しに鋭意努めてまいります。

また、当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は1,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。

これは主に、前渡金等のその他流動資産が17百万円、売掛金が4百万円、棚卸資産が4百万円増加した一方で、現金及び預金が74百万円減少したことによるものです。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は317百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

これは主に、ソフトウェアが7百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は698百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は508百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。

これは主に、賞与引当金が10百万円、未払金等のその他流動負債が8百万円減少した一方で、4月以降開催の「re-quest/QJ 就職フェア」等に関する契約負債(前受金)が89百万円増加したことによるものです。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は189百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。

これは主に、退職給付に係る負債が2百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は721百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。

これは主に、2025年12月期期末配当の支払9百万円、及び親会社株主に帰属する四半期純損失を122百万円計上したことにより、利益剰余金が131百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日付「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。また、資本政策等を含めた検討を進めておりますが、実行タイミングが不確定なため、連結業績予想には含んでおりません。なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,625	889,048
売掛金	83,610	88,547
棚卸資産	8,365	12,742
その他	95,476	113,075
貸倒引当金	△635	△823
流動資産合計	1,150,442	1,102,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,539	51,073
減価償却累計額	△24,556	△25,574
建物及び構築物(純額)	25,982	25,498
機械装置及び運搬具	6,213	6,232
減価償却累計額	△6,084	△6,111
機械装置及び運搬具(純額)	129	121
工具、器具及び備品	90,322	91,358
減価償却累計額	△75,223	△76,729
工具、器具及び備品(純額)	15,099	14,628
有形固定資産合計	41,211	40,249
無形固定資産		
ソフトウェア	166,186	158,440
ソフトウェア仮勘定	840	840
その他	1,088	1,043
無形固定資産合計	168,115	160,323
投資その他の資産		
投資有価証券	18,252	18,244
長期貸付金	9,090	9,090
その他	131,612	134,358
貸倒引当金	△44,982	△44,982
投資その他の資産合計	113,972	116,711
固定資産合計	323,299	317,283
資産合計	1,473,741	1,419,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,302	54,129
リース債務	3,190	3,212
未払法人税等	1,553	423
契約負債	230,410	319,852
賞与引当金	22,417	11,595
その他	128,150	119,507
流動負債合計	434,024	508,720
固定負債		
リース債務	10,167	9,355
退職給付に係る負債	173,721	176,352
その他	3,446	3,613
固定負債合計	187,335	189,321
負債合計	621,359	698,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,796	266,796
資本剰余金	216,796	216,796
利益剰余金	355,760	223,833
自己株式	△38	△38
株主資本合計	839,314	707,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182	174
為替換算調整勘定	12,884	14,269
その他の包括利益累計額合計	13,066	14,444
純資産合計	852,381	721,831
負債純資産合計	1,473,741	1,419,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	434,777	388,786
売上原価	196,193	196,663
売上総利益	238,584	192,122
販売費及び一般管理費	308,091	316,104
営業損失(△)	△69,507	△123,981
営業外収益		
受取利息及び配当金	751	1,018
為替差益	—	778
受取賃貸料	366	376
債務勘定整理益	50	280
その他	46	78
営業外収益合計	1,214	2,532
営業外費用		
支払利息	1,050	619
為替差損	2,221	—
シンジケートローン手数料	249	249
その他	41	0
営業外費用合計	3,563	869
経常損失(△)	△71,855	△122,318
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,855	△122,318
法人税、住民税及び事業税	648	669
法人税等調整額	△22,553	△305
法人税等合計	△21,904	363
四半期純損失(△)	△49,951	△122,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,951	△122,682

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△49,951	△122,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△7
為替換算調整勘定	△4,023	1,385
その他の包括利益合計	△4,023	1,377
四半期包括利益	△53,974	△121,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,974	△121,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

- 1 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約、及び取引金融機関7行と貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越限度額及び 貸出コミットメントの総額	1,600,000千円	1,600,000千円
借入実行残高	〃	〃
差引額	1,600,000千円	1,600,000千円

2 財務制限条項

借入金（2021年8月27日当社締結のコミットメントライン契約）については、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 連結会計年度の末日において単体の貸借対照表に記載される純資産の部の金額をマイナスとしないこと。
② 連結会計年度の末日において単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続で損失としないこと。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
借入金残高	－千円	－千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	19,221千円	18,686千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。